

2008年3月期(第11期)

決算説明会

2008年5月27日

株式会社ブイ・テクノロジー

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめ様々な要因により、見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

2008年3月期決算概要

2008年3月期総括 ①



- ▶ 2005,2006年と過剰な設備投資を実行したLCDパネルメーカーは需給バランスを崩し、2006年後半から2007年前半にかけて約1年間赤字転落となり、設備投資に急ブレーキをかけた。
- ▶ Vテクでは2006年後半から役員報酬や、社員の残業費カットを始め、様々な経費削減に努めてきた。
- ▶ しかしながら、売上の落込と競争激化に伴う価格下落は予想以上に大きく、経常赤字(584百万円)となった

2008年3月期総括 ②



- ▶ CF用露光装置EGISは順調に完成度を増しており、量産対応可能なシステムに成長。今期以降、収益源としての期待が高まる。
- ▶ タカノと業務提携をしたものの、9月に解消した
- ▶ 国家プロジェクトへの参加が決定した。
(次世代大型低消費電力液晶ディスプレイ基盤技術開発プロジェクト)
- ▶ 中国への本格参入開始
CDYの大型受注に加え、上海事務所を開設
(今期末から来期にかけて、G4.5 3ライン、G6 2ライン、G7.5 1ラインの計画がある)
- ▶ DMD高さ測定装置の開発に成功した
- ▶ 下期には大型受注に成功し、3月末の受注残が126億円となった。

連結業績ハイライト(前年同期比)



(金額:百万円)

	前期		当期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	12,717	100.0%	6,336	100.0%	▲50.2%
売上総利益	2,798	22.0%	1,038	16.4%	▲62.9%
営業利益	1,001	7.9%	▲ 541	▲ 8.5%	▲154.0%
経常利益	948	7.5%	▲ 584	▲ 9.2%	▲161.6%
当期純利益	415	3.3%	▲ 496	▲ 7.8%	▲219.5%

■計画比較(2007/09/26発表)

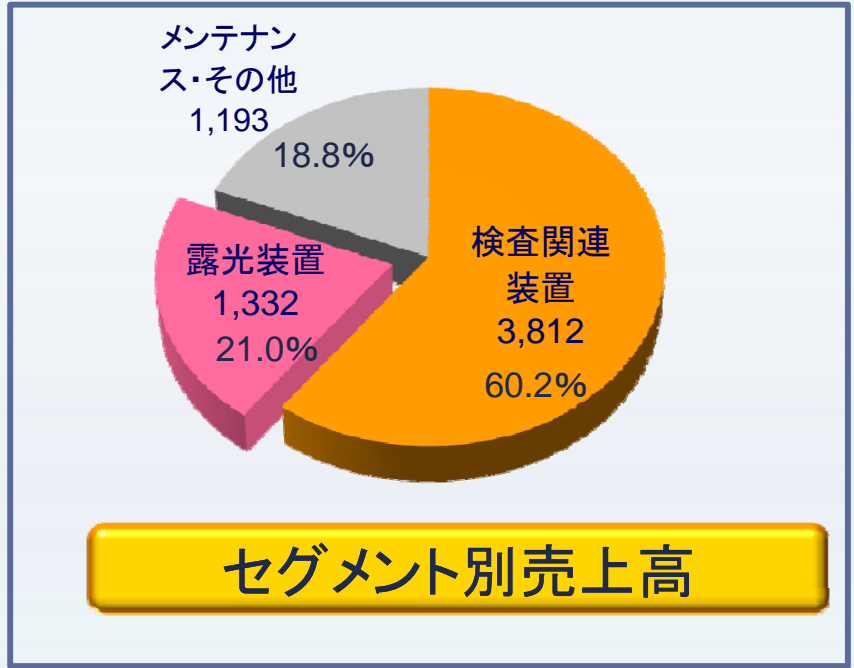
		差分
売上高	6,550	-214
営業利益	▲ 650	109
経常利益	▲ 670	86
当期純利益	▲ 480	-16

地域別/製品別連結売上高(前年比)



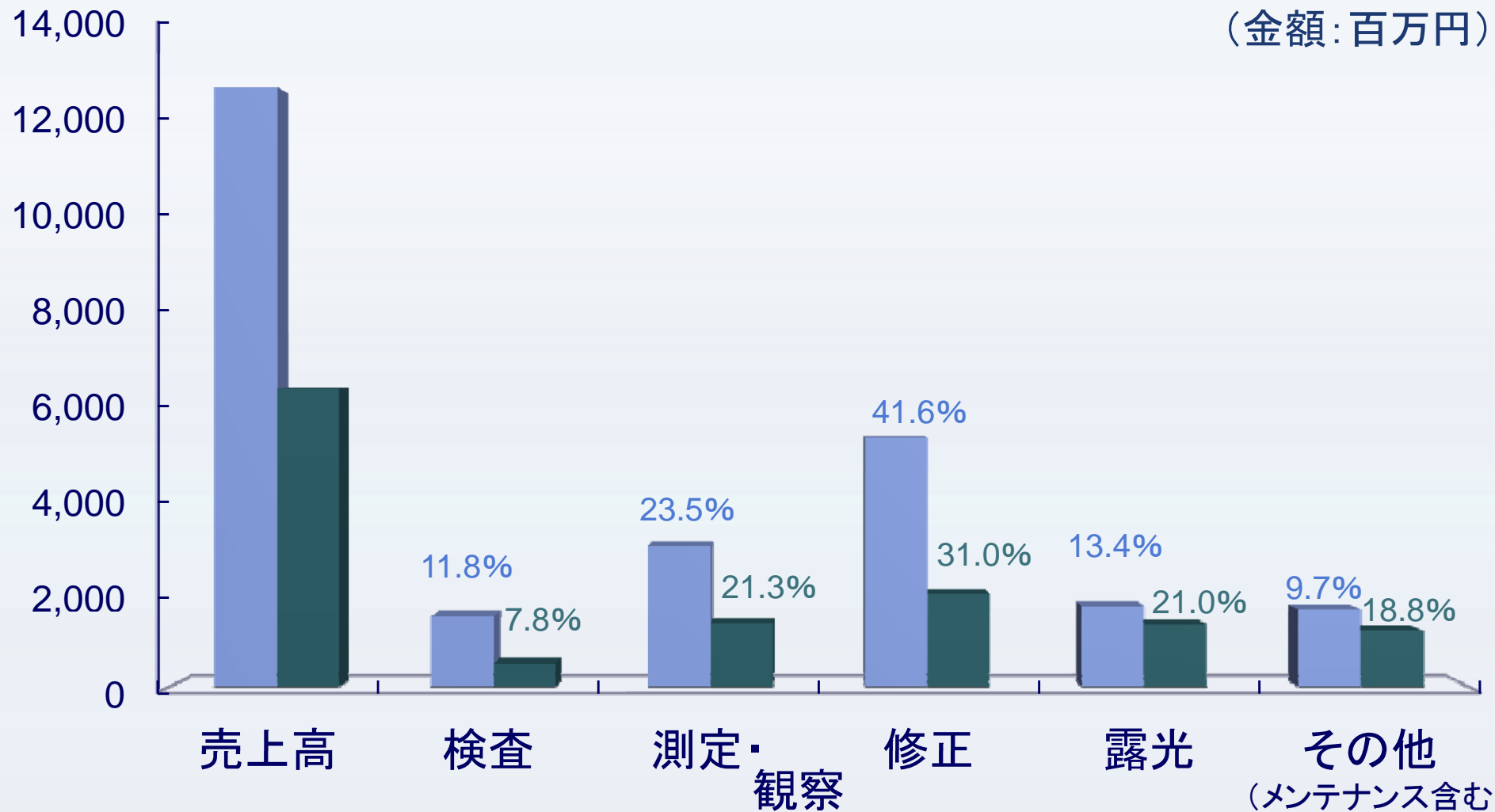
(金額:百万円)

地域別売上高



セグメント別売上高

装置タイプ別連結売上高（前年比）

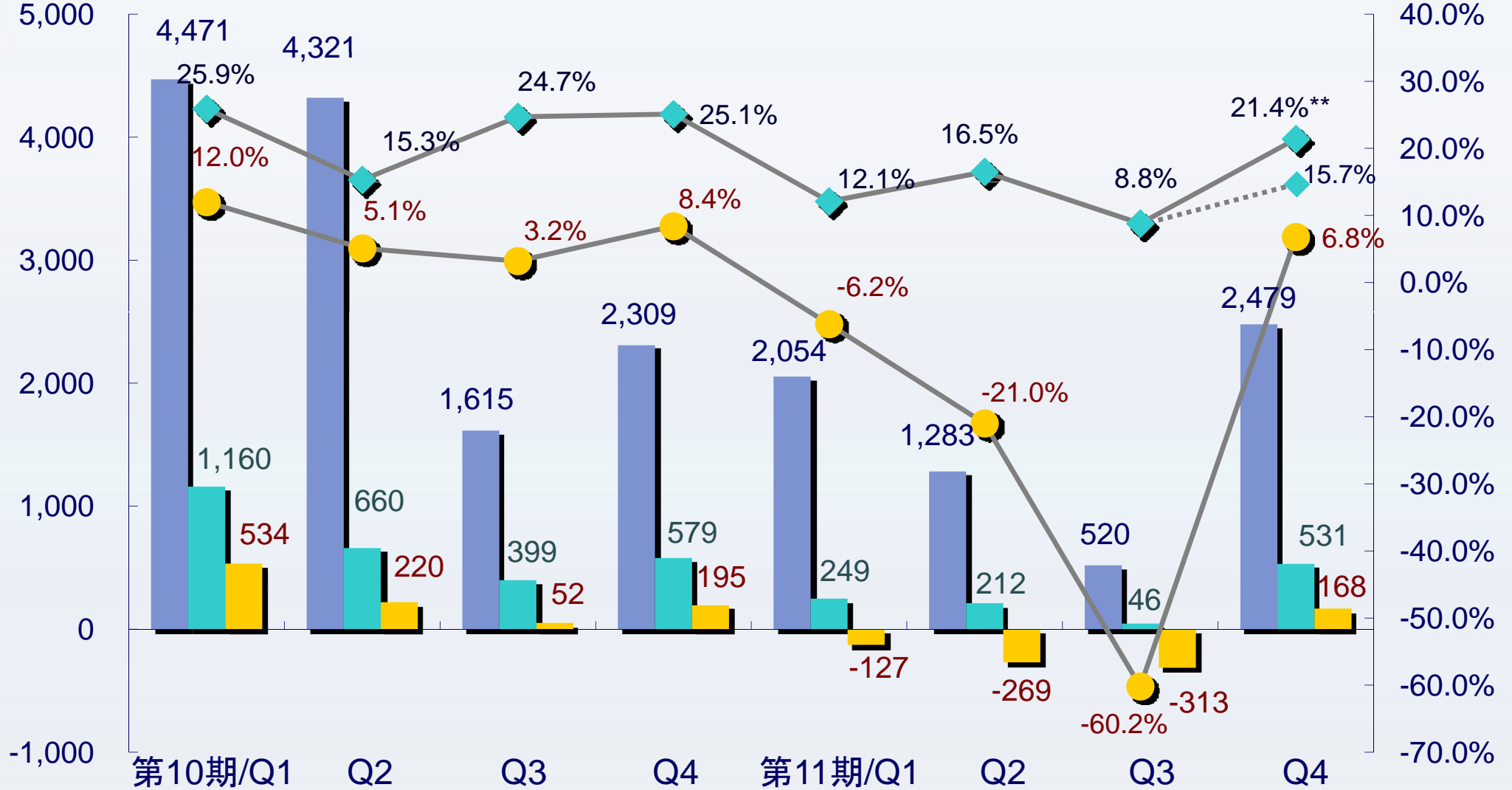


前期	12,717	1,499	2,990	5,286	1,703	1,630
当期	6,336	497	1,352	1,962	1,332	1,193

四半期毎連結売上高・利益推移

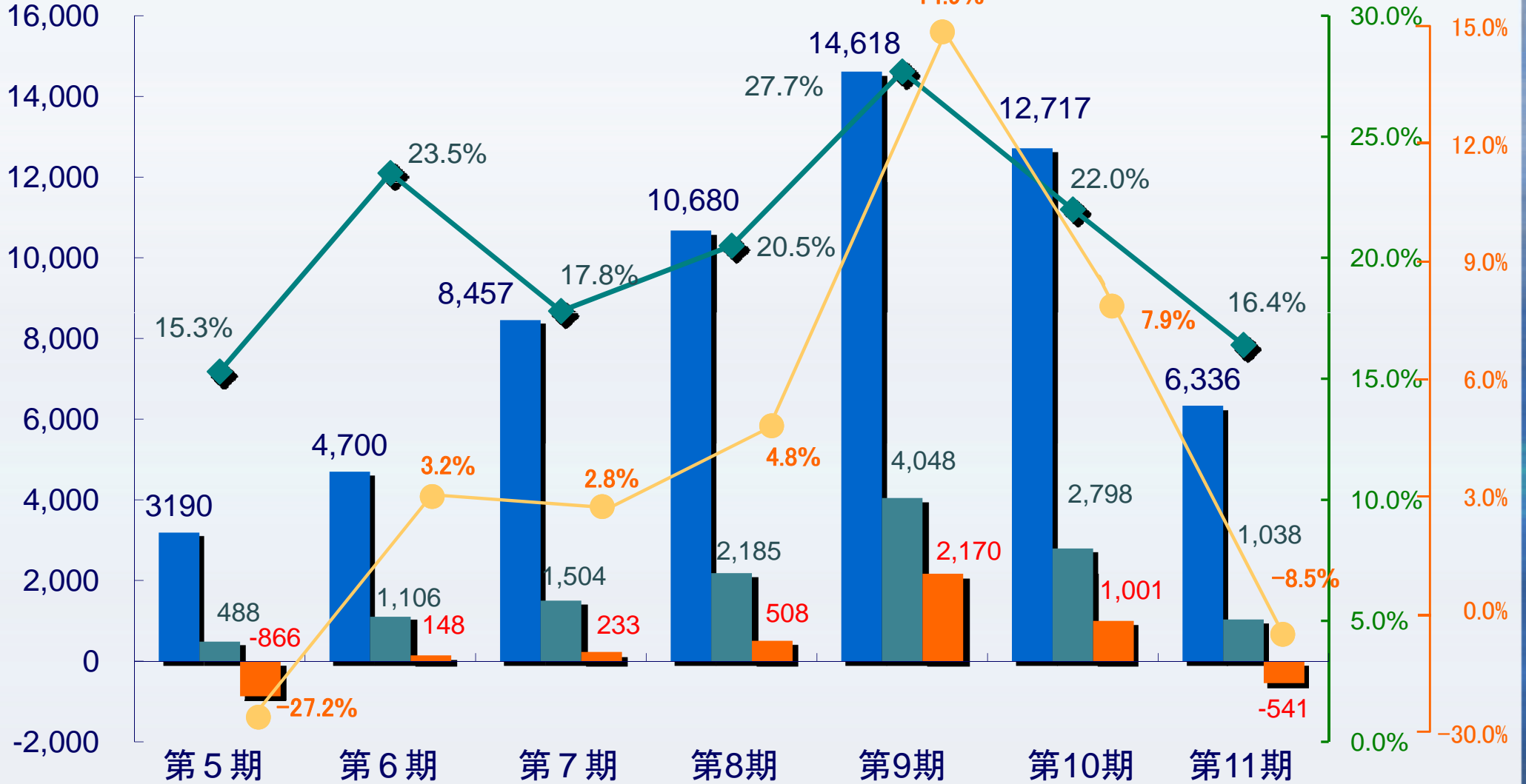
(百万円)

**Q4のロイヤリティを除いた売上総利益は15.7%



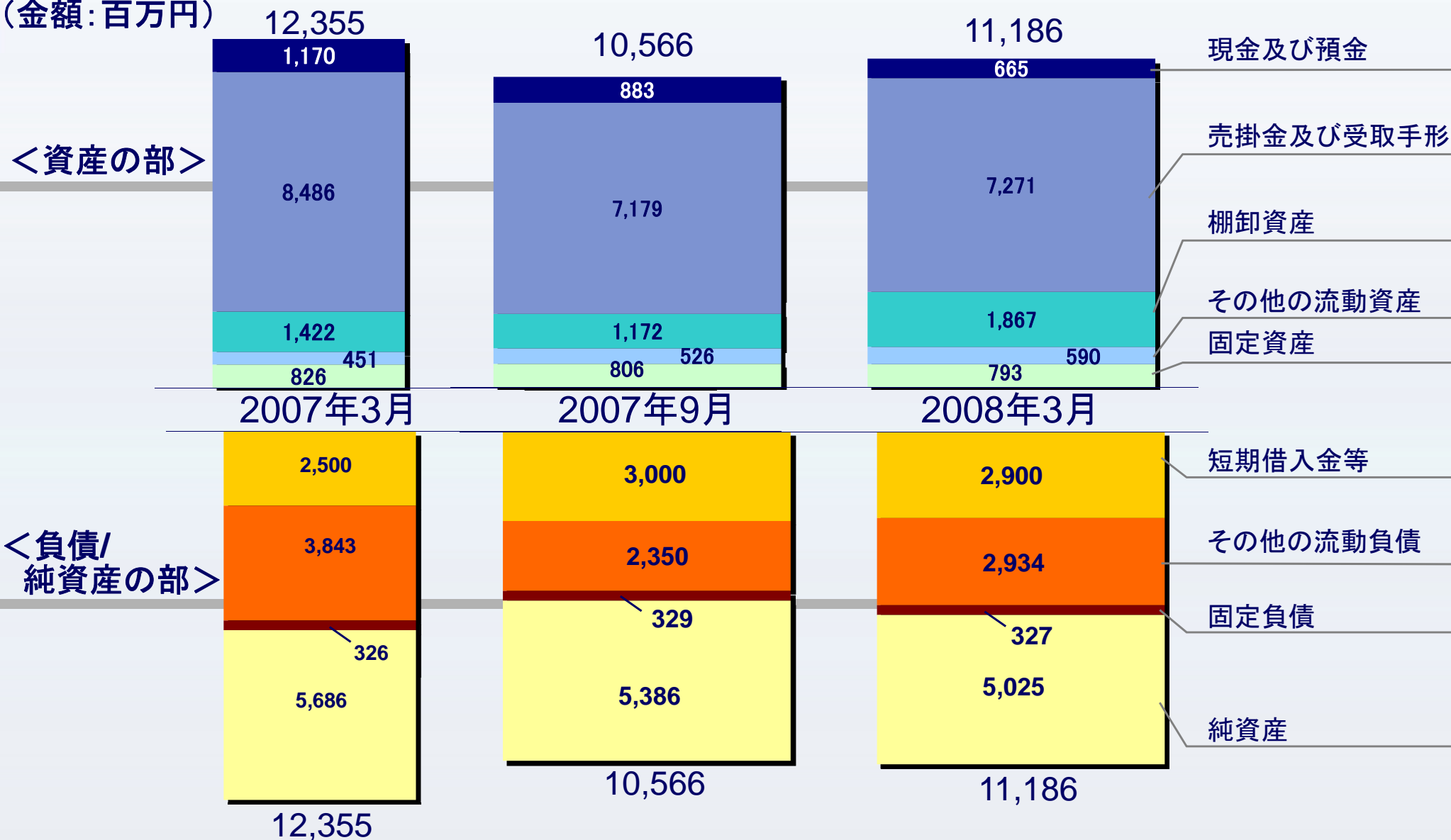
期毎連結売上高・利益推移

(百万円)



連結貸借対照表

(金額:百万円)

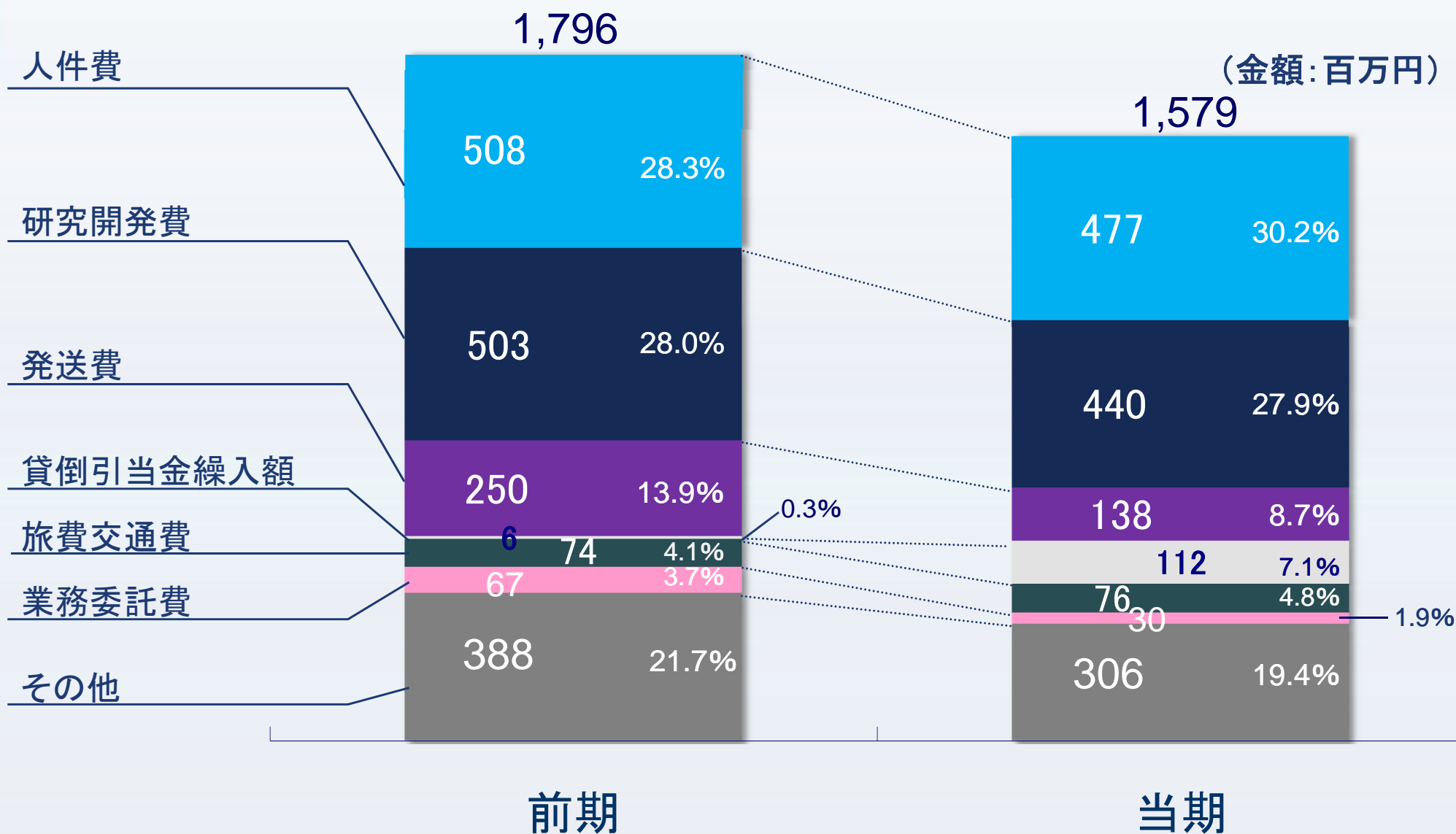


連結キャッシュフロー



		(金額:百万円)	07/03	08/03
期首現金及び現金同等物残高			2,058	1,170
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前純利益		942	▲ 614
	売上債権 (増加▲)		62	1,221
	在庫 (増加▲)		65	▲ 447
	仕入債務 (減少▲)		▲ 911	▲ 252
	その他		▲ 733	▲ 212
			▲ 574	▲ 304
投資活動によるキャッシュ・フロー			▲ 239	▲ 611
財務活動による キャッシュ・フロー	借入		29,230	31,800
	返済		▲ 29,280	▲ 31,450
	その他		▲ 35	▲ 61
			▲ 85	289
現金及び現金同等物に係わる換算差額			12	▲ 70
現金及び現金同等物の増減額			▲ 887	▲ 697
期末現金及び現金同等物残高			1,170	473

主な販売費及び一般管理費



受注残・受注額推移





V-TECHNOLOGY

業績見通しと
今後の方針について

連結業績予想



(金額:百万円)

	第11期実績		第12期予想				増減率
			上期予想		通期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	6,336	100.0%	6,300	100%	14,700	100.0%	132.0%
営業利益	▲ 541	▲ 8.5%	150	2.4%	850	5.8%	257.1%
経常利益	▲ 584	▲ 9.2%	100	1.6%	750	5.1%	228.4%
当期純利益	▲ 496	▲ 7.8%	190	3.0%	600	4.1%	220.9%

2008年度方針①



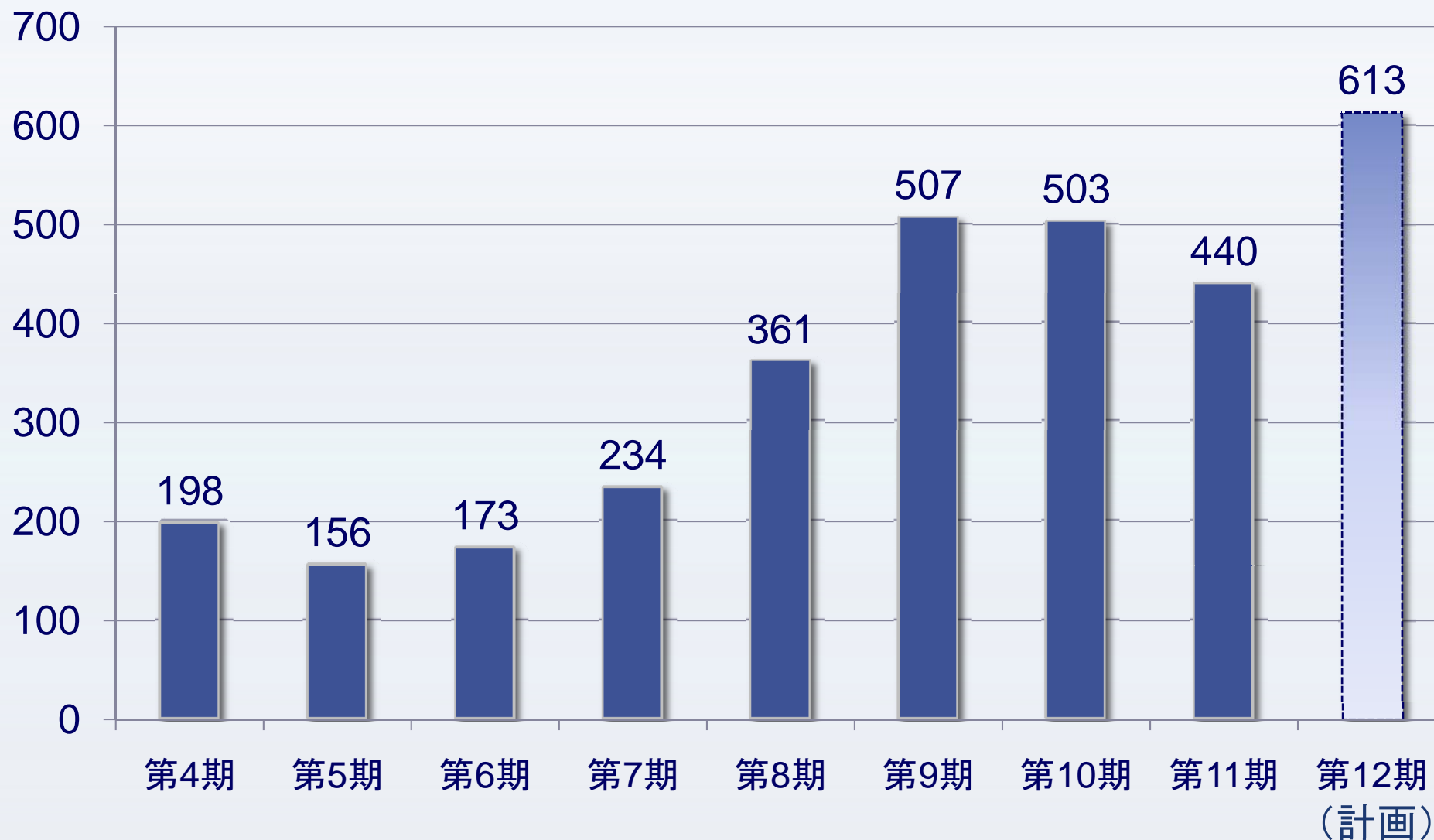
設備投資急回復により、大きなチャンスが到来
Vテクの強みであるInnovationと現場力によって
過去最高の業績を実現し、Vテクの新たな成長
路線を確立する。

V字回復と新成長の実現

研究開発費の推移・計画



(金額:百万円)





Innovative Productivity

- ▶ 台湾・中国市場向け(競争激化で粗利確保困難)
 - 修正装置の台湾生産開始
 - 検査装置の台湾OEM契約
 - 観察装置の台湾OEM契約

2008年度方針④



Innovative Technology

- ▶ CF露光装置の量産成功
 ➡ 新成長の実現へ
- ▶ TFT露光装置の開発(国家プロジェクト含)
- ▶ 修正装置搭載の非接触高さ測定の廉価版
- ▶ 大幅なコストダウン設計
- ▶ 現地立上工数削減
- ▶ 太陽電池市場への参入

PVJapan2008出展



太陽光発電に関する総合イベント「PVJapan2008」に出展致します。

日時 2008年7月30日(水)～8月1日(金)

場所 東京ビッグサイト 東ホール

バイ・テクノロジー
ブース 東4ホール・スペシャルステージ横
